

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	4年間（2016年3月18日～2020年3月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-03>の受益証券
	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-03>	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、世界の企業（金融機関を含みます。）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>※金融機関についてはG-SIFIsに指定されているものとします。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p> <p>※保有実質外貨建資産とは、当ファンドが保有する外貨建資産およびマザーファンドが保有する外貨建資産のうち当ファンドに属するとみなした外貨建資産をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格（ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上）の格付けを有する銘柄を中心とします。なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未満の格付けを有する銘柄にも投資します。</p> <p>ロ. 各業種のクレジット・アナリストによる個別発行体の財務分析および信用リスク分析等により、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ハ. 投資対象銘柄の中から、繰上償還の実現性、利払いの確実性、格付見通し等のファンダメンタルズ分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ニ. 組入候補銘柄の中から、同業他社比較や相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ホ. 当ファンドの信託期間終了日までに満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。</p> <p>ヘ. 組入銘柄の償還や買入消却等に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。</p> <p>②外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図にかける権限を委託します。</p> <p>③ハイブリッド証券、普通社債および国債の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	<p>分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p>	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

コーポレート・ハイブリッド証券 ファンド2016-03 （為替ヘッジあり） （愛称：メジャー・カンパニーズ16-03）

運用報告書（全体版） 第5期 （決算日 2018年9月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03（為替ヘッジあり）（愛称：メジャー・カンパニーズ16-03）」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					受 益 者 回 り	公 社 債 組 入 比 率	元 残 存 本 率
	(分 配 落)	税 込 分	み 配 金	期 騰 落 中 額	期 騰 落 中 率			
設 定 (2016年 3月18日)	円 10,000	円 —	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期 末 (2016年 9月20日)	10,217	110	327	3.3	6.4	93.4	98.6	
2 期 末 (2017年 3月17日)	10,261	110	154	1.5	4.8	94.6	93.5	
3 期 末 (2017年 9月19日)	10,376	80	195	1.9	4.5	97.6	81.8	
4 期 末 (2018年 3月19日)	10,355	50	29	0.3	3.5	95.2	58.3	
5 期 末 (2018年 9月18日)	10,286	45	△ 24	△ 0.2	2.7	94.0	39.0	

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

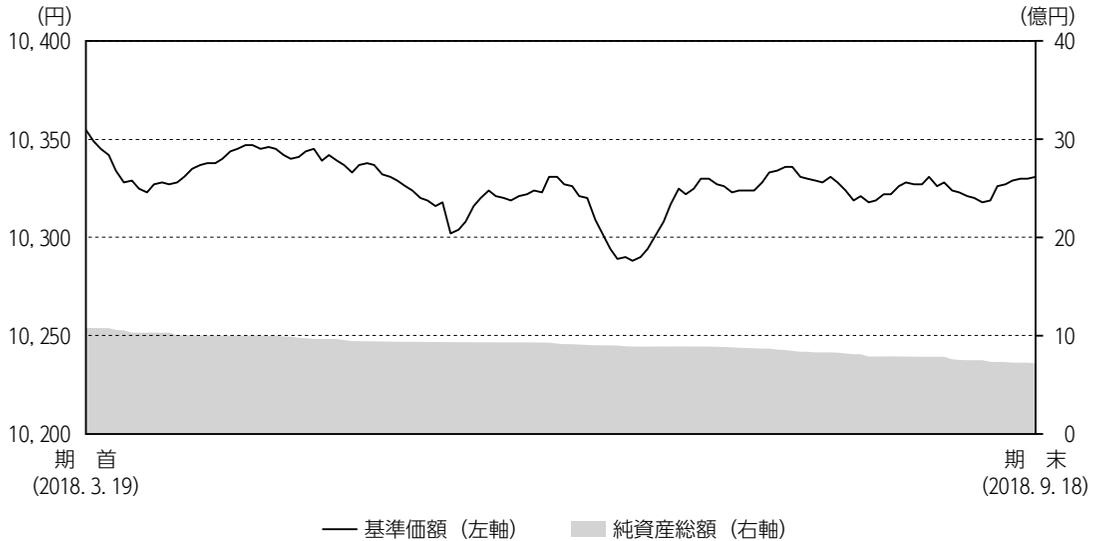
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,355円

期末：10,286円 (分配金45円)

騰落率：△0.2% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

ハイブリッド証券市場が軟調に推移したことにより、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2018年 3月19日	10,355	—	95.2
3月末	10,323	△ 0.3	96.1
4月末	10,341	△ 0.1	87.8
5月末	10,304	△ 0.5	90.0
6月末	10,289	△ 0.6	95.4
7月末	10,334	△ 0.2	97.1
8月末	10,324	△ 0.3	95.4
(期 末) 2018年 9月18日	10,331	△ 0.2	94.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2018. 3. 20 ~ 2018. 9. 18）

債券市況

欧州債券市場では、ドイツ3年国債利回りはほぼ横ばいとなりました。期首から2018年5月後半にかけては、米国の保護主義的な政策に振らされる展開となり、金利は方向感なく推移しました。5月後半には、イタリアの政治情勢に対する懸念が高まり市場のリスク回避姿勢が強まったことから、金利は急低下しました。6月半ばにかけては、イタリアの政治情勢への懸念が和らいだことなどから、金利は上昇傾向となりました。その後はトルコに関する地政学リスクの高まりで一時的に金利が低下する場面がありましたが、ECB（欧州中央銀行）の金融政策正常化の動きなどに左右されつつ、上昇傾向で推移しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場については、グローバルな景気動向や企業業績が堅調だったことが下支えとなりましたが、米国の貿易摩擦問題やイタリアの財政問題、トルコ危機などの地政学リスクに振らされる展開となったことや、資金流入が乏しかったこともあり、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。

前期における「今後の運用方針」**当ファンド**

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の受益証券組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行いません。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。

ポートフォリオについて

（2018. 3. 20 ~ 2018. 9. 18）

■当ファンド

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の受益証券組入比率は、期を通じておおむね100%程度を維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行ないました。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

主として、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図にかかる権限を委託しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は45円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額23,093,751円が、経費控除後の配当等収益13,431,630円を超過しているため、純資産額の元本超過額23,093,751円（1万口当り331.11円）を分配対象額として、うち3,138,503円（1万口当り45円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の受益証券組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行ないます。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 3. 20~2018. 9. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	76円	0. 736%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 326円です。
(投 信 会 社)	(41)	(0. 395)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0. 325)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 016	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	78	0. 752	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年3月20日から2018年9月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	—	—	307,332	345,500

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	945,098	637,766	724,694	724,694

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	724,694	98.1
コール・ローン等、その他	14,291	1.9
投資信託財産総額	738,985	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=111.83円、1イギリス・ポンド=147.00円、1ユーロ=130.51円です。

(注3) コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>において、当期末における外貨建純資産(3,033,510千円)の投資信託財産総額(3,048,819千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,419,990,627円
コール・ローン等	10,108,191
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>> (評価額)	724,694,426
未収入金	685,188,010
(B) 負債	702,590,073
未払金	690,032,941
未払収益分配金	3,138,503
未払解約金	4,032,499
未払信託報酬	5,349,375
その他未払費用	36,755
(C) 純資産総額 (A - B)	717,400,554
元本	697,445,306
次期繰越損益金	19,955,248
(D) 受益権総口数	697,445,306口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,286円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,286円です。

■損益の状況

当期 自2018年3月20日 至2018年9月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,102円
受取利息	4
支払利息	△ 1,106
(B) 有価証券売買損益	31,824,161
売買益	83,448,012
売買損	△ 51,623,851
(C) 有価証券評価差損益	△ 28,760,827
(D) 信託報酬等	△ 6,706,925
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△ 3,644,693
(F) 前期繰越損益金	△ 36,953,785
(G) 解約差損益金	△ 10,215,341
(H) 合計 (E + F + G)	△ 23,093,751
(I) 収益分配金	△ 3,138,503
次期繰越損益金 (H + I)	19,955,248

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

(注5) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 1,713,617円(未監査)

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	45円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《お知らせ》

●運用指図権限の委託先に関する変更について

運用指図権限の委託先であるパイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが商号をアムンディ・アイルランド・リミテッドに変更しました。その後、運用指図権限の委託先をアムンディ・アイルランド・リミテッドからアムンディ・アセットマネジメントに変更しました。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

運用報告書 第5期 (決算日 2018年9月18日)

(計算期間 2018年3月20日～2018年9月18日)

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>の第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
運用方法	<p>①主として、世界の企業（金融機関を含みます。）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ※金融機関についてはG-SIFIsに指定されているものとします。</p> <p>②ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ、投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格（ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上）の格付けを有する銘柄を中心とします。なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未満の格付けを有する銘柄にも投資します。</p> <p>ロ、各業種のクレジット・アナリストによる個別発行体の財務分析および信用リスク分析等により、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ハ、投資対象銘柄の中から、繰上償還の実現性、利払いの確実性、格付見通し等のファンダメンタルズ分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ニ、組入候補銘柄の中から、同業他社比較や相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ホ、当ファンドの信託期間終了日までに満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。</p> <p>ヘ、組入銘柄の償還や買入消却等に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④ハイブリッド証券、普通社債および国債の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

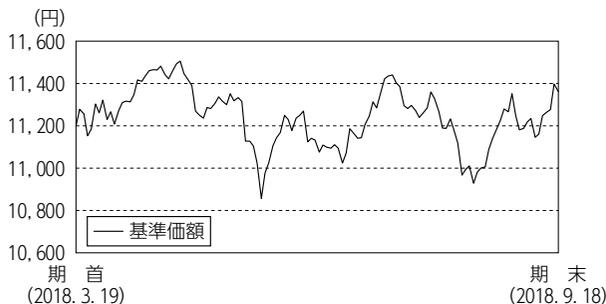
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首) 2018年3月19日	円	%	%
3月末	11,201	—	96.9
4月末	11,230	0.3	96.5
5月末	11,449	2.2	88.2
6月末	10,978	△ 2.0	93.2
7月末	11,072	△ 1.2	95.9
8月末	11,286	0.8	96.2
8月末	11,251	0.4	95.4
(期末) 2018年9月18日	11,363	1.4	93.1

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：11,201円 期末：11,363円 騰落率：1.4%
 【基準価額の主な変動要因】

ハイブリッド証券市場は軟調に推移しましたが、保有証券からの利息収入や対米ドルでの円安がプラスに寄与したことにより、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○債券市況

欧州債券市場では、ドイツ3年国債利回りはほぼ横ばいとなりました。期首から2018年5月後半にかけては、米国の保護主義的な政策に振られる展開となり、金利は方向感なく推移しました。5月後半には、イタリアの政治情勢に対する懸念が高まり市場のリスク回避姿勢が強まったことから、金利は急低下しました。6月半ばにかけては、イタリアの政治情勢への懸念が和らいだことなどから、金利は上昇傾向となりました。その後はトルコに関する地政学リスクの高まりで一時的に金利が低下する場面がありましたが、ECB（欧州中央銀行）の金融政策正常化の動きなどに左右されつつ、上昇傾向で推移しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場については、グローバルな景気動向や企業業績が堅調だったことが下支えとなりましたが、米国の貿易摩擦問題やイタリアの財政問題、トルコ危機などの地政学リスクに振られる展開となったことや、資金流入が乏しかったこともあり、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。

○為替相場

ユーロ円相場はほぼ横ばいとなりました。一方、米ドル円相場は上昇（円安）となりました。米ドルは期を通して、利上げ期待などから対円で堅調な推移となりました。ユーロに関しても、金融正常化期待が上昇要因（対円）となりましたが、2018年5月後半のイタリアの政治不安や6月半ばにドラギECB総裁が政策金利は少なくとも2019年の夏いっぱいまでは現行水準にとどまると発言したこと、また8月半ばのトルコ危機などがユーロ安要因（対円）となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないません。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。

◆ポートフォリオについて

主として、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないません。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図にかかる権限を委託しています。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないません。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合計	1

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年3月20日から2018年9月18日まで)

		買付額		売付額	
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	
			814	106	()
	イギリス	社債券	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	
			—	375	(1,702)
	ユーロ (オランダ)	社債券	千ユーロ	千ユーロ	
			—	1,035	(1,000)
	ユーロ (フランス)	社債券	千ユーロ	千ユーロ	
—			1,725	(1,250)	
ユーロ (イタリア)	社債券	千ユーロ	千ユーロ		
		—	544	()	
ユーロ (オーストリア)	社債券	千ユーロ	千ユーロ		
		—	100	(1,441)	

		買付額		売付額	
外 国	ユーロ (その他)	社債券	千ユーロ	千ユーロ	
			317	1,130	(250)
ユーロ (ユーロ通貨計)	社債券	千ユーロ	千ユーロ		
		317	4,535	(3,941)	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年3月20日から2018年9月18日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
		千円	
Credit Agricole SA (フランス) 8.375% 永久債	88,517	Electricite de France SA (フランス) 4.25% 永久債	122,143
Royal Bank of Scotland Group PLC (イギリス) 3.625% 2024/3/25	40,286	AMERICA MOVIL SA de CV (メキシコ) 5.125% 2073/9/6	113,218
		Telefonica Europe BV (オランダ) 6.5% 永久債	104,844
		Enel SpA (イタリア) 6.5% 2074/1/10	70,880
		Engie (フランス) 3% 永久債	53,293
		Royal Bank of Scotland Group PLC (イギリス) 3.625% 2024/3/25	33,695
		Koninklijke KPN NV (オランダ) 6.125% 永久債	29,609
		Barclays Bank PLC (イギリス) 14% 永久債	25,359
		RWE AG (ドイツ) 7% 永久債	14,781
		Societe Generale SA (フランス) 9.375% 永久債	14,699

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 3,437	千アメリカ・ドル 3,484	千円 389,693	% 12.8	% 2.6	% 12.8	% —	% —
イギリス	千イギリス・ポンド 2,599	千イギリス・ポンド 2,737	402,421	13.3	5.4	13.3	—	—
ユーロ (オランダ)	千ユーロ 2,900	千ユーロ 2,967	387,250	12.8	—	12.8	—	—
ユーロ (フランス)	千ユーロ 7,649	千ユーロ 8,010	1,045,441	34.4	12.5	34.4	—	—
ユーロ (イタリア)	千ユーロ 1,922	千ユーロ 1,997	260,713	8.6	—	8.6	—	—
ユーロ (その他)	千ユーロ 2,537	千ユーロ 2,592	338,407	11.2	—	11.2	—	—
ユーロ (小計)	千ユーロ 15,008	千ユーロ 15,568	2,031,813	67.0	—	67.0	—	—
合 計	—	—	2,823,928	93.1	20.6	93.1	—	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国(外貨建)公社債(銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日								
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額									
アメリカ	CLP Power HK Finance Ltd Credit Agricole SA SK E&S Co Ltd	社債券 社債券 社債券	% 4.2500 8.3750 4.8750	千アメリカ・ドル 1,529 1,185 723	千アメリカ・ドル 1,536 1,232 715	千円 171,837 137,819 80,036	永久債 永久債 永久債								
								通貨小計	銘柄数 金額	3銘柄	3,437	3,484	389,693		
								イギリス	Barclays Bank PLC RWE AG Credit Agricole SA	社債券 社債券 社債券	14.0000 7.0000 7.5890	千イギリス・ポンド 799 1,100 700	千イギリス・ポンド 867 1,124 745	127,568 165,236 109,617	永久債 永久債 永久債
ユーロ(オランダ)	Telefonica Europe BV Telefonica Europe BV Vonovia Finance BV	社債券 社債券 社債券	6.5000 4.2000 4.6250	千ユーロ 500 1,200 1,200	千ユーロ 500 1,239 1,226	65,286 161,830 160,134	永久債 永久債 2074/04/08								
								国小計	銘柄数 金額	3銘柄	2,900	2,967	387,250		
								ユーロ(フランス)	Electricite de France SA Engie Solvay Finance SA	社債券 社債券 社債券	4.2500 3.0000 4.1990	千ユーロ 2,100 1,000 1,249	千ユーロ 2,196 1,017 1,277	286,711 132,796 166,661	永久債 永久債 永久債

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

区 分		銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
		Societe Generale SA Orange SA	社債券 社債券	%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
				9.3750	1,500	1,629	212,622	永久債
				4.2500	1,800	1,889	246,649	永久債
国 小 計	銘柄数	5銘柄						
	金 額				7,649	8,010	1,045,441	
ユーロ (イタリア)		Enel SpA Enel SpA	社債券 社債券		千ユーロ	千ユーロ		
				6.5000	700	714	93,188	2074/01/10
				5.0000	1,222	1,283	167,524	2075/01/15
国 小 計	銘柄数	2銘柄						
	金 額				1,922	1,997	260,713	
ユーロ (その他)		Origin Energy Finance Ltd Royal Bank of Scotland Group PLC	社債券 社債券		千ユーロ	千ユーロ		
				4.0000	1,237	1,272	166,135	2074/09/16
				3.6250	1,300	1,319	172,272	2024/03/25
国 小 計	銘柄数	2銘柄						
	金 額				2,537	2,592	338,407	
通 貨 小 計	銘柄数	12銘柄						
	金 額				15,008	15,568	2,031,813	
合 計	銘柄数	18銘柄						
	金 額						2,823,928	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

■投資信託財産の構成

2018年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	2,823,928	92.6
コール・ローン等、その他	224,890	7.4
投資信託財産総額	3,048,819	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=111.83円、1イギリス・ポンド=147.00円、1ユーロ=130.51円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,033,510千円)の投資信託財産総額(3,048,819千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	3,179,319,667円
コール・ローン等	158,258,487
公社債(評価額)	2,823,928,712
未取入金	130,619,000
未取利息	65,815,194
前払費用	698,274
(B)負債	144,500,292
未払金	130,500,000
未払解約金	14,000,000
その他未払費用	292
(C)純資産総額(A-B)	3,034,819,375
元本	2,670,693,856
次期繰越損益金	364,125,519
(D)受益権総口数	2,670,693,856口
1万口当り基準価額(C/D)	11,363円

* 期首における元本額は3,838,775,573円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,168,081,717円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)637,766,810円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)Ⅱ196,323,093円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり)1,836,603,953円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,363円です。

■損益の状況

当期 自2018年3月20日 至2018年9月18日

項 目	当 期
(A)配当等収益	94,817,102円
受取利息	94,940,242
支払利息	△ 123,140
(B)有価証券売買損益	△ 47,269,947
売買益	40,383,587
売買損	△ 87,653,534
(C)その他費用	△ 429,981
(D)当期損益金(A+B+C)	47,117,174
(E)前期繰越損益金	460,926,628
(F)解約差損益金	△ 143,918,283
(G)合計(D+E+F)	364,125,519
次期繰越損益金(G)	364,125,519

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

《お知らせ》

●運用指図権限の委託先に関する変更について

運用指図権限の委託先であるパイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが商号をアムンディ・アイルランド・リミテッドに変更しました。その後、運用指図権限の委託先をアムンディ・アイルランド・リミテッドからアムンディ・アセット・マネジメントに変更しました。